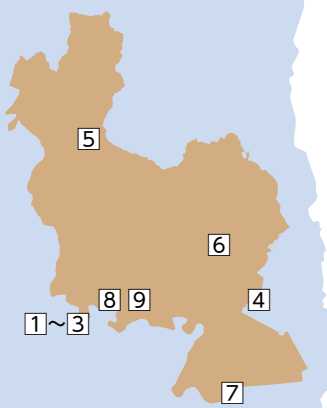


おおたけ橋探訪



橋は、人の行き来や物流に欠かせない存在です。橋はそこにあつて当たり前、日頃は意識することもないかもしれません。市内にはたくさんさんの橋があり、私たちの生活を支えています。永久橋といわれるコンクリートや鉄鋼でできた橋が、国道27カ所、県道24カ所、市が管理している数は207カ所にものぼり、さらには企業や個人が架けた橋もあります。

橋はさまざまな歴史を持っています。土橋、木橋から鋼やコンクリートの橋への変遷、その姿も多様です。そんな表情豊かな市内の橋を訪ねてみました。

【取材 企画財政課】



①県境の弥栄湖をまたぐ全長560mの弥栄大橋。昭和62（1987）年に完成した大規模斜張橋で、人造湖に架かる斜張橋としては西日本最大。②橋の中央部にある県境表示。広島県（4年）と山口県（5年）のローテーションで維持管理をしている。③平成3（1991）年から開催された『弥栄湖スポーツフェスティバル』。ドラゴンボート競走や漕艇競技などで熱戦が繰り広げられた。『弥栄湖サマーピクニック』と名称を変えながら、平成22（2010）年まで湖面を使ったイベントでにぎわった。

④小方港から阿多田島に向かうフェリー乗り場の小方棧橋。⑤三倉岳を望む栗谷町小栗林の宮久保神社のそばを流れる大谷川に架かる橋。⑥大膳川の赤いトラス橋を渡り錦龍の滝へ。⑦元町2丁目中市堰歩道橋。橋のたもとの波型や丸い玉の飾りは、風水を表わしているのだろうか。⑧弥栄ダムのそばの国道186号の飯谷2号橋。赤いアーチが目目を引く。



おおたけの赤い橋



⑨八丁地区は、かつて集落があつたが、弥栄ダム建設に伴い移転となった。深い峡谷に架かる八丁1号橋と弥栄ダム。



24



21



22



23



27



26



28



20

20]パイプラインの小瀬川連絡橋は、岩国大竹石油化学コンビナートのシンボリックな存在。炎を出す塔は、余剰ガスを無害化するための施設。

21]JRの広島地区で運用されている227系レッドウィングが小瀬川橋りょうを快走。22]山陽新幹線は玖波と比作の2カ所で姿を現す。大野トンネルと大竹トンネルの間の恵川橋りょうを駆け抜けるのぞみ号。23]空中に伸びる広島岩国道路の恵川高架橋と市道の神田橋。24]国道2号の恵川新橋のたもとにある石碑。昭和24(1949)年に日本初となった溶接工法を採用した鋼板桁溶接橋と記されている。25]玖波～松ヶ原間にある新梅の橋。親柱にはツガの意匠が施されている。26]中国電力玖波発電所への入り口にある恵橋。27]大竹小学校の児童が渡っている学園歩道橋。28]市内では珍しいアーチ型の橋。小方ヶ丘管理道橋は歩道専用。上流に車が通行できる同型の橋もある。



29

29]山陽本線をまたぐ翠橋は昭和43(1968)年供用開始。当時の二階堂哲朗市長が、緑化によって大気汚染防止と、まちの美化を図ろうとする意図を込めて命名した。



30



31



34



33

2つの栄橋

33]蛇喰磐の付近、岩国市美和町との境にある栄橋。34]大動脈国道2号の栄橋が県境を結ぶ。※このほかに後飯谷地区には、湖底に沈んだ県境に架かる堺橋というのもあった。



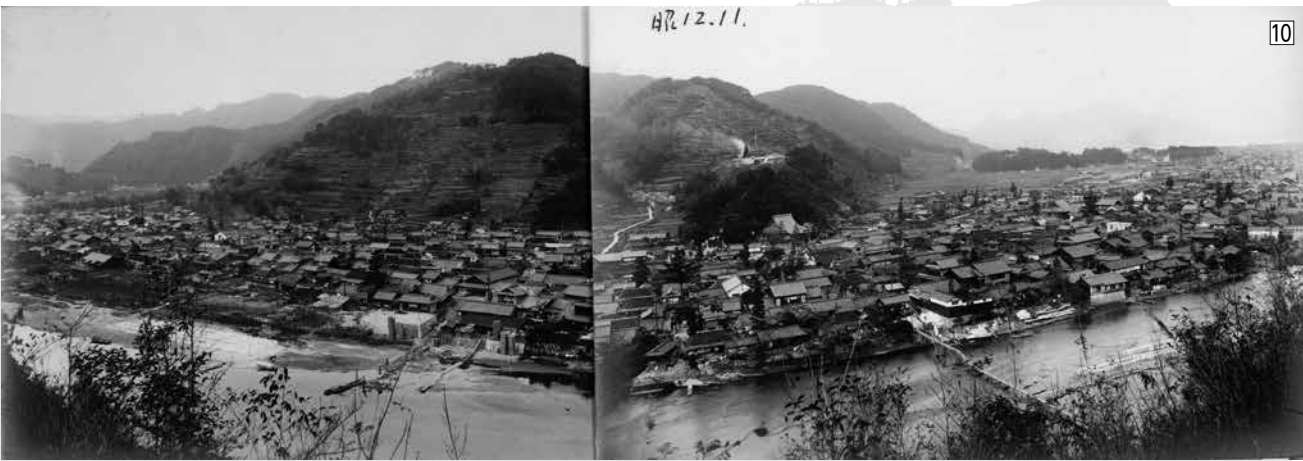
35

35]3月に完成予定の恵川橋歩道橋。狭い幅員を多くの人や車が往来していたが、新たな橋で安全な通行ができる。

30]栗谷町小栗林の宮久保橋。栗谷の名前を象徴する栗の飾りが個性的。31]防鹿地区の前瀬橋は洪水時に水没する潜水橋(沈下橋)。市内では珍しいタイプ。32]北栄の丸小山神社の横。入川水路にある北小島大竹港橋。



32



10

10]昭和12(1937)年撮影の小瀬川沿いの元町の風景。中市(現在の元町2)から和木側に簡易な橋が架けられている。(村井浩さん提供)

いにしへの橋



12

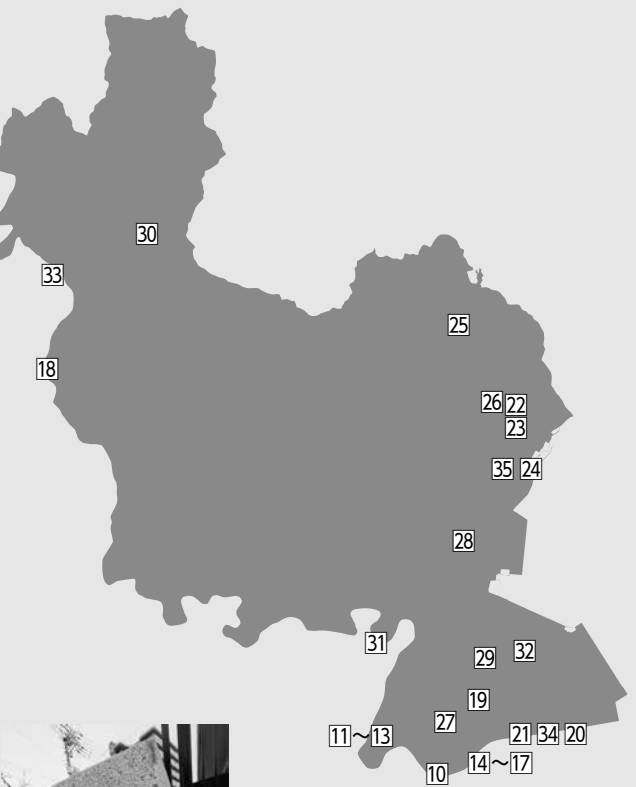


11

新旧両国橋 11(右上)安芸の国と周防の国を結ぶ両国橋。かつては橋が無く、渡し舟で国境を越えていた。大正時代になり木造の橋が架けられた。昭和23(1948)年には、つり橋が完成。堂々とした姿を見せる。(村井浩さん提供) 12]3月のひな流しの舞台となる木野地区。トラス構造の両国橋と背後には建設中の現在の橋がのぞく。13]平成27(2015)年に、現在の橋に架け替えられた。



13



おおたけ橋探訪



16



14



15

14]昭和26(1951)年、ルース台風が大竹を襲い、大和橋の中央部分が流失した。村井浩さん提供) 15]青木公園(本町)には大正15(1926)年時の大和橋の親柱が保存されている。16]平成9(1997)年に、現在の大和橋が完成。17]大和橋の下の遊歩道には、このぼりの壁画が描かれている。



17

18]栗谷町大栗林から岩国市美和町に渡る大三郎橋。その横には以前のつり橋の橋脚が残っている。19]現在は暗きよとなっているが、権現橋の親柱が橋の面影を残す。



19



18